

5、光音寺 平田市奥宇賀町一七七番地

宗派 臨済宗妙心寺派

本尊 延命地藏菩薩

現住職 安住宗雄

開山は勅諭大光圓照禪師（春龍玄濟）である。（妙心寺々籍調査台帳）ちなみに春龍和尚は、遠州浜松の城主堀尾吉晴が豊臣秀吉の命により、出雲國能義郡富田庄に国替になった時、一族の菩提寺へ、浜松の天徳寺から招請した禪師である。菩提寺は、最初城安寺であったが、富田城の移築等により瑞王寺へと移され、時代の流れとともに変遷を続け、改号して、現在の松江市栄町の円成寺となった。

開基は、尼子の家臣、宇賀掃部助（法名 桂光院月叟常春居士）元亀二年没（一五七二）の位牌堂として建立したものであると伝えられている。この後、尼子氏の滅亡とともに、寺門の荒廃は甚だしく、衰退の一途を辿った。

これから後、約一世紀半余を経て、圓成寺六世操山慈柏和尚の



法師、寛道智要和尚当時に来り、法祖となり、開山の法系を継いで現在に至っているのを見ると、開山は、圓成寺からの勧請開山ではあるまいか。先住定崑和尚の入山時は、いたく、荒れていたが、現住英純和尚と二代にわたり境内の整備がなされ、本堂の改修、庫裡の新築、梵鐘の再鑄吊鐘等が矢継ぎ早やに行われ、佛閣としての景観が整えられた。

別堂その他

● 観音堂 聖観世音菩薩

盾縫第十八番観音霊場詠歌

光音の

響き伝わる

奥宇賀の

観音参る

人ぞたのしき

● 地藏堂 六地藏菩薩

● 鐘楼堂 一字

● 鎮守堂 一字